



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9045 URL <https://www.keihan-holdings.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石丸 昌宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	65,423	2.2	9,060	44.9	8,989	33.3	8,843	9.7
2023年3月期第1四半期	64,039	9.0	6,252	292.7	6,743	229.3	8,060	930.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10,807百万円 (15.2%) 2023年3月期第1四半期 9,382百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	82.49	82.47
2023年3月期第1四半期	75.20	75.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	782,143	281,073	35.2
2023年3月期	774,849	273,510	34.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 275,405百万円 2023年3月期 268,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2024年3月期	-				
2024年3月期(予想)		0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	130,500	6.0	15,000	47.4	14,500	37.6	12,000	14.2	111.93
通期	292,000	12.3	23,400	14.2	22,300	9.0	18,500	5.0	172.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	113,182,703株	2023年3月期	113,182,703株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	5,973,824株	2023年3月期	5,978,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	107,205,703株	2023年3月期1Q	107,185,291株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

「2024年3月期第1四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動を行って業績の向上に努めました結果、営業収益は65,423百万円（前年同期比1,384百万円、2.2%増）、営業利益は9,060百万円（前年同期比2,808百万円、44.9%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は8,989百万円（前年同期比2,245百万円、33.3%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は8,843百万円（前年同期比783百万円、9.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①運輸業

鉄道事業やバス事業におきましては、旅客需要の回復に伴う輸送人員の増加などにより、増収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は21,662百万円（前年同期比1,554百万円、7.7%増）となり、営業利益は3,635百万円（前年同期比1,445百万円、66.0%増）となりました。

#### ②不動産業

不動産販売業におきましては、マンションで「NAGOYA the TOWER」などを販売いたしました。前年同期に販売した「ザ・ファインタワー大手前」の反動があったほか、前年同期の収益物件売却の反動があり、減収となりました。

不動産賃貸業におきましては、不動産ファンド収入の減少などにより、減収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は26,276百万円（前年同期比4,329百万円、14.1%減）となり、営業利益は4,432百万円（前年同期比1,138百万円、20.4%減）となりました。

#### ③流通業

ショッピングモールの経営におきましては、「KUZUHA MALL」や「KYOTO TOWER SAND」のリニューアル効果などにより、増収となりました。

ストア業におきましては、2022年12月に開業した「もより市 樟葉駅」など「もより市」各店舗の開業効果などにより、増収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は12,683百万円（前年同期比244百万円、2.0%増）となり、営業利益は627百万円（前年同期比163百万円、35.1%増）となりました。

#### ④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、インバウンドや国内旅行需要の回復に加えて、2023年3月25日に開業した「ホテル京阪なんばグランデ」の通期寄与などにより、増収となりました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は8,121百万円（前年同期比3,666百万円、82.3%増）となり、営業利益は740百万円（前年同期は1,489百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤その他の事業

その他の事業におきましては、インバウンドや国内旅行需要の回復に伴う「GOOD NATURE STATION」利用者の増加などにより、営業収益は1,115百万円（前年同期比286百万円、34.6%増）、営業損失は211百万円（前年同期は307百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、現金及び預金や販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から7,294百万円(0.9%)増加し、782,143百万円となりました。

負債につきましては、有利子負債が増加したものの、工事代金などに係る未払金が減少したことなどにより、前連結会計年度末から267百万円(0.1%)減少し、501,070百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から7,562百万円(2.8%)増加し、281,073百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、需要回復に伴うレジャー・サービス業や運輸業の増収に加えて、不動産販売業における期ずれによる増収などを見込むことから、前回発表予想(2023年5月11日)を修正しております。セグメント別営業収益及び営業利益の増減につきましては本日開示しております「2024年3月期第1四半期 決算補足資料」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今後の需要動向を踏まえた影響等を算定中ではありますが、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

## 2024年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	124,300	130,500	6,200	5.0
営業利益	9,000	15,000	6,000	66.7
経常利益	8,300	14,500	6,200	74.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,300	12,000	3,700	44.6

※上記の連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,784	25,747
受取手形、売掛金及び契約資産	36,058	26,987
有価証券	75	75
販売土地及び建物	147,347	153,226
商品	1,538	1,557
その他	15,583	16,210
貸倒引当金	△385	△393
流動資産合計	217,002	223,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	206,386	205,975
機械装置及び運搬具（純額）	17,163	17,181
土地	231,271	231,068
リース資産（純額）	10,537	10,430
建設仮勘定	18,010	17,764
その他（純額）	3,268	3,244
有形固定資産合計	486,638	485,664
無形固定資産		
無形固定資産	7,476	7,690
投資その他の資産		
投資有価証券	45,142	47,354
長期貸付金	198	196
繰延税金資産	4,104	3,428
退職給付に係る資産	1,705	1,725
その他	12,731	12,812
貸倒引当金	△149	△140
投資その他の資産合計	63,731	65,377
固定資産合計	557,846	558,732
資産合計	774,849	782,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,137	9,021
短期借入金	53,608	70,855
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	3,751	2,499
前受金	10,178	12,472
賞与引当金	2,882	1,213
その他	48,218	41,756
流動負債合計	148,777	147,818
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	188,016	189,224
長期未払金	132	127
リース債務	10,554	10,426
繰延税金負債	3,465	3,442
再評価に係る繰延税金負債	32,475	32,146
役員退職慰労引当金	127	97
退職給付に係る負債	16,842	16,809
その他	20,945	20,976
固定負債合計	352,560	353,251
負債合計	501,338	501,070
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,792	28,794
利益剰余金	166,989	173,364
自己株式	△21,574	△21,558
株主資本合計	225,673	232,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,021	8,473
土地再評価差額金	35,031	34,283
為替換算調整勘定	72	94
退職給付に係る調整累計額	449	486
その他の包括利益累計額合計	42,575	43,339
新株予約権	121	101
非支配株主持分	5,139	5,566
純資産合計	273,510	281,073
負債純資産合計	774,849	782,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	64,039	65,423
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	47,534	45,847
販売費及び一般管理費	10,252	10,515
営業費合計	57,786	56,362
営業利益	6,252	9,060
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	272	242
持分法による投資利益	32	12
雇用調整助成金	206	20
新型コロナウイルス感染症対策補助金	49	42
雑収入	489	140
営業外収益合計	1,060	466
営業外費用		
支払利息	481	466
雑支出	87	70
営業外費用合計	568	537
経常利益	6,743	8,989
特別利益		
固定資産売却益	4,379	4,484
補助金	197	243
工事負担金等受入額	1	80
投資有価証券売却益	—	1
その他	5	—
特別利益合計	4,583	4,808
特別損失		
投資有価証券評価損	31	397
固定資産除却損	57	314
固定資産圧縮損	24	30
特別損失合計	114	741
税金等調整前四半期純利益	11,212	13,056
法人税、住民税及び事業税	3,086	4,117
法人税等調整額	△137	△339
法人税等合計	2,948	3,777
四半期純利益	8,264	9,279
非支配株主に帰属する四半期純利益	203	435
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,060	8,843



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,264	9,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	916	1,469
退職給付に係る調整額	67	37
持分法適用会社に対する持分相当額	134	22
その他の包括利益合計	1,118	1,528
四半期包括利益	9,382	10,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,178	10,354
非支配株主に係る四半期包括利益	204	452

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として13年）で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として12年に変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。